

第5号議案

令和7年度事業計画(案) (令和7年4月1日～令和8年3月31日)

特定非営利活動法人
京都観光文化を考える会・都草

1 基本方針

都草の「ともに京都を学び・語り・遊ぶ」という合言葉のもとに、会員の皆様の“京都への想い”を大切にしながら、成熟した NPO 法人として、会員活動の更なる充実と、社会に貢献できる活動を推進してまいります。

- 会員の豊富な知見と知的好奇心、京都の魅力発信に対する意欲等を活かせる事業を行う。
- 高齢化が進む中、各事業の運営については会員の安全性を最優先とする。
- 「観光文化」を標榜する都草は、内外の文化的活動を更に充実させる。
- 今年は大阪・関西万博開催の年。この国家イベントが社会のデジタル化をさらに加速させると考えられる。このような社会変化に対応していくために、今期も引き続きデジタル化を進める。
- 令和9（2027）年の都草創立20周年へ向けて、記念式典の開催、記念誌の発行、記念事業の起ち上げなど、「20周年記念準備委員会」を発足させて、これらの準備を進める。
- 地域および、国・京都府・京都市・京都商工会議所・各大学・地域団体・法人会員などとの連携を深めながら、信頼される NPO 法人として、社会的役割を果たしていく。

【主な事業】

◎社会連携事業

- ・京都御苑歴史研究会では、昨年実施した京都御苑歴史散策ガイドツアー10周年記念事業の成果を踏まえて、今後も研修会の継続、ガイド資料の見直し・アップデートを行う。また、世代交代を見据えた新人ガイドの研修会も実施する。ガイドの総合力向上を目標とするなかで、外国人向けのガイド等のあり方を検討していく。
- ・京都府庁旧本館旧知事室・正庁および旧議場の案内・監視業務を遂行し、都草が担当してきた半年間に6回実施の京都府庁旧本館土曜講座開催に今年度も協力する。さらに、年中無休体制となった「salon de 1904」との関連受託事業が今後も増える可能性があることに鑑みて、都草も引き続き協力していく。案内内容の向上を図るための勉強会を実施するなど対応体制の充実を図り、より多くの会員活動の場を維持する。
- ・地域の伝統行事継承支援として、祇園祭大船鉦や、時代祭に係わるボランティア活動を継続する。
- ・美化活動は、会員の活動参加をさらに促すため、新たな奉仕先の開拓を進めるとともに、長年実施できていない場所も奉仕先に加える。またオリエンテーションでの活動への積極的な呼びかけや、行事予定内容の充実を図る。引き続き若い運搬要員の確保に努め、各社寺との友好な関係を維持する。
- ・京都市の「双京構想推進事業」については、市から要請があれば従来通り協力する。

◎会員事業

- ・歴史探訪会は、本年度のチャレンジ目標として、個人では訪れることが難しいと思料される所を探訪する。下見の際に移動時間帯の経路の安全確保を十分にチェックし、当日には必要な安全対策に注力し6回実施する。また、歴史探訪会企画メンバーの高齢化に鑑み、新メンバーの発掘に注力する。

- ・研究発表会は、会員は無料参加で、年間8回開催する。1回に2名の発表で、時間は一人80分。会員の専門知識の向上や発表の場を設けることにより会員同士のコミュニケーションを図る。また、京のこと語り隊講師のスキルアップの場ともし、発表は録画し YouTube で会員限定公開する。
- ・文化部は、文化交流部会と令和7年度新規事業の都草 映画研究会の二つの活動になる。文化交流部会は、個人では容易に体験することができない企画を提供する。文化に対する旺盛な向学心・好奇心を持つ会員が多く参加できるよう、スタッフを増員し、内容の充実を図る。今年度は、岩倉の歴史を地元カフェで聴く・写経体験と山端平八茶屋での食事会・日本酒体験などを実施予定。都草 映画研究会は、京都に関係する映画についての学習・調査・研究と映画資産の有益な活用・保存への協力、その文化の復興・普及に向けた活動の実践や支援をする。京都にある映画史跡の散策会や京都映画賞への支援活動などを計画している。
- ・都草 わくわく倶楽部は、わくわく研究会と祇園祭研究会の二つの活動を継続していく。わくわく研究会は、年に2回の発表会とフィールドワーク、バスツアーを計画する。発表会の内容については、6月に、一般会員に初披露する機会を設ける。さらに、100年後にも語り継がれるような令和の「京都の七不思議」を、新たな発見を加味して、都草独自に纏めあげていくことを検討する。祇園祭研究会は、令和4年から半年をかけ中京区・下京区の粽調査を実施したが、加えて江戸時代まであった寄町との関係などを聞き取り調査を実施し、その調査結果と考察の成果を発表する。また、祇園祭の鶏鉾・霰天神山と3分割された、長浜曳山祭の鳳凰山見送幕の見学を実施する。さらに、個別調査についての結果報告と、調査結果の成果は、Web の地図上で可視化する作業を引き続き進めていく。
- ・京のこと語り隊は、「新現役ネット」でオンライン講座を実施したことで、引き続きフォローは継続する。同時に、本年は有力ホテル・文化施設等、本来の活動である語る場と講演企画について模索する。
- ・ガイド研修部門は、会員の安全を第一に考える都草として救急措置の重要性を認識し、主にガイド等の活動をする会員に対しての救命救急研修（京都市消防局支援）を、1年間に1回のペースで実施していく。
- ・都草講演会は、会員の知識向上のため専門知識を持った講師を招き、都草主催の講演会を実施する。一般の方の参加も見込んで、6月・1月の年2回京都学歴彩館で開催する。今年は都草顧問井上満郎先生の「稻荷信仰の成り立ち 渡来人の祀った稻荷神社」と京都産業大学法学部准教授の久禮旦雄氏による講演の2回とする。
- ・都草のホームページや都草だよりを通して、都草の活動方針や内容をタイムリーに発信し、会員にとってまた一般の方々に向け、都草の活動が楽しく意義のある活動であることを認識できるツールとする。
- ・デジタル事業部は、映画研究会発足に伴い、ホームページに部会を追加する。模擬試験・直前演習受付手順変更に伴う改修も行う。
- ・映像事業は、京都の観光文化の新たな魅力を都草ならではの視点で掘り起こし、テーマも寺社・飲食店・交通系などに拡大し、SNS を通じて情報提供を行う。また、ドローン撮影が必要な作品によっては、ドローン事業者への費用が発生する。引き続き年間5作品を目標に最低4作品の制作を目指す。その際に、都草の他の事業と連携した作品を最低1作品制作する。引き続き、制作技術の一層の向上と普及・伝承を推進する。また、映像制作者としての‘都草’をさらに広く知らしめる。
- ・会員台帳システムの機能を十分に活用し、会員の積極的な活動参加や活動・組織体制の利便化・充実化に結び付ける。

◎主催事業：

- ・都草主催の京都通模擬試験は、受験者総数220名を目標とし、10月5日（日）に開催する。京都検定1級受験者に一層役立つ、信頼される模擬試験を目指し、委員会活動は、月1回を原則

に開催する。解答解説講習時間は150分とする。また、第3回京都検定1級合格対策直前問題演習会を、京都・東京の2会場、自宅受講も可能な形式で開催する。

◎受託事業：案内業務

- ・京都府庁旧本館旧知事室・正庁および旧議場・京都高齢者大学校・三井ガーデンホテル京都・京都東急ホテル・単発ガイド等のツアーガイド業務は引き続き行う。都草に相応しい内容の案内依頼であれば、今後も NPO 法人として責任のもてる範囲で受託していく。

◎受託事業：講座業

- ・京都新聞文化センター主催の京都検定1級対策講習会は、例年高い評価を受けている。京都会場3回、東京会場1回で実施するが、よりよい講習会の実現のために講習内容と資料の見直しを継続する。令和7年度も、1回の講習会を2日に分けて実施するため、講習時間合計は10時間となる。
- ・ヤサカ観光講座では、京都検定2級・3級合格に役立つ講習会を11回開催し、社内試験用問題を100題、2回に分けて提供する。
- ・京都駅ビル開発（株）の講習会では、3級受験者向けに3級公開テーマの講習を新設し、団体戦の好成績を期する。
- ・京都の歴史や伝統文化・行事祭事等について話をする「おでかけ講座」として、京都伝統工芸大学校・京都高齢者大学校・阪急交通社「たびコト塾」・等の講座を継続する。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係わる事業

事業名	事業内容	実施予定	実施予定場所	スタッフ	対象者と予定人数
美化活動	観光地・社寺・史跡等の美化活動	年約15回	京都府内	8名	会員・一般 400名
京都御苑歴史研究会	京都御苑歴史研究会	年1～2回	未定	9名	部員 30名
	京都御苑御所 歴史散策ツアー	毎週日曜日	京都御苑・御所 4コース	23名	一般 800名
	京都御苑案内 (団体予約)	年数回	京都御苑	15名	一般 多数
伝統文化支援	大船鉾支援ボランティア	令和7年 7月20日～24日	大船鉾	35名	一般 多数
	北観音山曳き手	令和7年7月24日	巡行コース	6名	会員
	時代祭支援ボランティア	令和7年10月22日	案内・交通整理	20名	一般 多数
府庁連携	京都府庁案内 (旧本館・旧議場)	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日	府庁旧本館 府庁旧議場	18名	一般 約3000名
	旧議場土曜講座	令和7年10月1日～ 令和8年3月31日 (月1回)	府庁旧議場	4名	一般 360名
歴史探訪会	社寺・史跡等 歴史探訪会	年6回	京都府内	30名	会員 240名
文化交流	文化交流部会	年2～4回	京都府内	7名	会員 80名
	映画研究会	月1回	京都市内	2名	部員 30名
研究発表会・講演	都草研究発表会	年8回	ひと・まち交流館 京都、オンライン	6名	会員 200名

研究発表 会・講演	都草講演会	年2回	京都府立京都学・ 歴彩館	12名	会員・一般 400名
各種研修 会	ガイド研修会	年1回	ひと・まち交流館 京都	3名	会員 50名
	京のこと語り隊	年数回	各地	4名	会員 50名
都草 わくわく 倶楽部	わくわく研究会 (フィールドワーク・発表会)	年6回	京都市内	6名	部員 30名
	祇園祭研究会	年数回	京都市内他 現地	6名	部員 30名
ガイド ツアー	三井ガーデンホテル	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日	京都市内	6名	一般 100名
	京都街歩き (伊藤グループ)	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日	京都市内	8名	12～13名
	単発依頼ガイド	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日	京都市内	30名	一般 500名
京都検定 対策	京都通模擬試験	令和7年10月5日	平安女学院大学 自宅	26名	会員・一般 220名
	京都商工会議所・京都新 聞文化センター共催 京都検定1級対策講習会	令和7年7月・8月 (4回)	京都経済センター 昭和女子大学 (東京)	9名	一般 400名
	京都検定1級合格対策 直前問題演習会	令和7年11月16日	京都・東京・自宅	10名	会員30名・一般70名
	ヤサカ観光講座	令和7年7月～11月 (11回・補講2回)	彌榮自動車	12名	ヤサカ社員10名/回 会員 10名/回
	京都駅ビル開発 検定講習会	未定	京都駅ビル	6名	約14名/回
おでかけ 講座	京都伝統工芸大学校	令和7年4月～9月	二本松学院 オンライン	3名	学生 95名
	修学旅行事前学習会	令和7年5月～11月	東京3～5校	5～8名	学生 350名
	単発講演依頼	年数回	各地	4名	一般 150名
複合業務	京都高齢者大学校 (講座)	年8回	長浜バイオ大学 河原町学舎	8名	一般 400名
	京都高齢者大学校 (ツアー)	月4回×8	京都市内	64名	一般 1200名
	阪急交通社(講座) 大阪	月1回	梅田阪急 グランドビル30F オンライン	16名	一般 800名
	阪急交通社(講座) 東京	月1回	阪急交通社 東日本営業部 新橋センター	4名	一般 300名
月刊誌	『月刊京都』連載	月1回	京都府庁事務所	11名	約5万部
広報	映像プロジェクト	年数本	京都府庁事務所 現地	9名	一般 多数